

街と人の未来を
地面から守る

LSS[®]流動化処理土

建設現場での発生土をリサイクルして製造する資源循環型埋戻し材「流動化処理土」。

流動性に優れ適度な硬度をもつため、特に狭い空間の埋戻しや充填などあらゆる現場で活用されています。

また地盤沈下や液状化の予防など街と暮らしの課題を解決することも可能な画期的な埋戻し材です。

\流れる! 埋める! 掘り返せる!/ LSS[®]流動化処理土ができること

高い流動性で
狭空間にも
充填が可能

締め固め不要で
工期・コストを
省力化

再掘削可能な
任意の強度に
調整できる

地盤の空洞化、
液状化を防止

■施工例



構造物まわりの埋戻し



多条埋設管埋戻し



地下構造物の充填



液状化の予防



不要になった休止管の閉塞



地下空間・空洞の埋戻し



路面下の空洞への充填



護岸空洞への充填

材料

山土
建設泥土
+
製造
プラント

高品質な
埋戻し材

山土や建設現場で発生した建設泥土を使用して、用途に応じた高品質な埋戻し材を提供します。

山土や建設泥土を調整、異物除去し、固化材などを加え品質管理されたプラントで製造します。

現場設置型プラント



施工現場近くに、現場設置型のプラントを設けることもできます。

TFソイル製造プラント



LSS小牧プラント(あいくる認定資材)



LSS名古屋西プラント

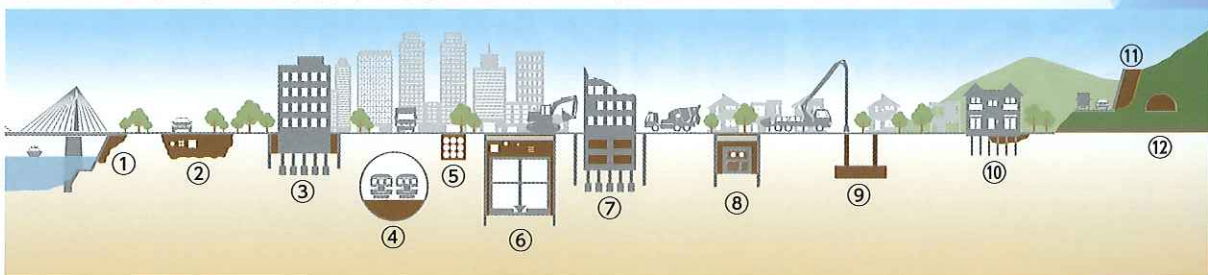
●特許取得済技術、特許工法[特許番号:4482411号]等 ●グリーン購入法特定調達品目に認定
●あいくる～愛知県リサイクル資材評価制度～
愛知県が品質・性能等の評価基準を定め、適合するリサイクル製品を認定し、公共工事において使用促進を図る制度です。

現場

高い
流動性
+
締め固め
不要

狭い空間での
埋戻し

流動性に優れ、掘り返しも可能な材料です。
あらゆる現場での需要が高まっています。

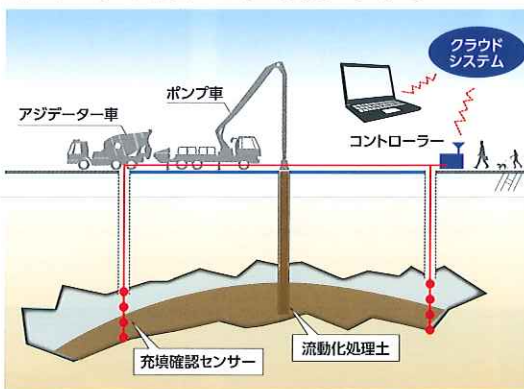


①擁壁、カルバートなど護岸工事(水中施工) ②路面下大規模陥没の充填 ③構造物の隙間の埋戻し
④地下鉄複線シールドのインパート部への利用 ⑤多条埋設管の埋戻し ⑥共同溝の側部、上部の埋戻し
⑦解体工事の地下躯体への充填 ⑧埋設管周囲の埋戻し(上下水管・ガス管など) ⑨不要になった休止管(マンホールなど)の閉塞
⑩建設後に発生した地盤沈下の補修 ⑪地山と山留め壁の埋戻し ⑫不要になったトンネルの閉塞

施工

クラウド
システム
+
充填確認
センサー

確実な充填施工



施工時に充填確認センサーを設置し空洞の隅々まで充填されているかを確認



流動化処理工法の流れ

- 1 掘削機による穴あけ
- 2 センサーの設置
- 3 流動化処理土の充填
- 4 センサーによる充填管理
- 5 チェックボーリングによる充填確認

●仮設から本設の施工まで様々な用途に活用できます。ご用命は下記よりお問い合わせください。

工法のお問い合わせは

徳倉建設株式会社

取り扱い店

(流動化処理工法研究機構正会員)

〒460-8615 愛知県名古屋市中区錦3丁目13番5号

電話:052-961-3271(代表)/FAX:052-971-1570

<https://www.tokura.co.jp/>



徳倉建設は流動化処理工法
研究機構の正会員です。

流動化処理工法

流動化処理土は、旧建設省の土木研究所と共同開発された特許工法(材料)であり、LSSは流動化処理研究機構の正会員として開発・管理される信頼性の高い埋戻し材です。

流動化処理工法について
徳倉建設ホームページ



流動化処理工法
研究機構

